

社員番号		氏名	所 年雄	カナ	トコロ トシオ	所属		作成日	2020/9/25
------	--	----	------	----	---------	----	--	-----	-----------

DIタイプ



ⅢH 信念、実行力、シャイ

59pt

自分の力を信じ、目標に向かって取り組んでいくタイプ。実行力があり、最後まで手を抜かずにやり通す。人付き合いはあまり得意ではなく、一人で進めることを好む側面がある。チームで協業する時も頑なな一面が出ることもある。 【強度】59pt

【他タイプとの合致度】

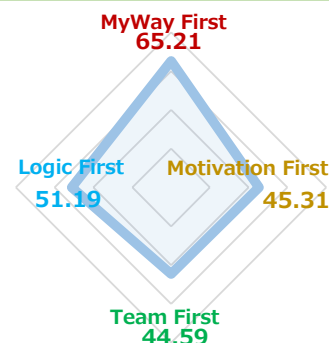
ⅢJ	キャプテンシー、安定、対話	26pt
ⅡD	努力、独力、論理	23pt

DIタイプとは：DI本部全員のアセスメントデータを分析し、特性の類型を全11パターンに分類。それぞれの特性を分かりやすいように表現した。**強度**が高いほど、類型との合致度合いが高い。

ソーシャルスタイル

冷静な独裁者

論理型統率タイプ



自ら先頭を走り、常に主体的で主導的な役割を担って行動できる。自ら定めた目標に対する達成意欲が高く、行動優先で決断も早く負けず嫌い。手段は問わない傾向あり。
チームの調和に対する興味が欠けている
【強度】50pt

ソーシャルスタイルとは：人はふるまい方や物事の見方、意思決定の仕方に好みがあり、好みの傾向から大きく4つソーシャルスタイルに分類される。内的な傾向ではなく、社会や組織とどの様に接する傾向があるか、「社会性」の分類である。**強度**が高いほど、分類との合致性が高い。

思考のスタイル

興味関心は自分の世界の中にある
自分の価値観を重視する
自身の主観を重視する

内向性 (i)	関心の方向性	外向性 (e)
52.47		47.53

興味関心は世界の在り方にある
社会的な動きに関心がある
社会の客観的見解を重視する

現実主義
未来より今この瞬間が大事
現場感を大事にする

現実的 (r)	世界の捉え方	直観的 (n)
41.41		58.59

理想主義
創造力やアイデア豊かで型破り
未来から今を考える

理屈や論理に合うことが肝要
正しさ（あるべき）を優先する
事実、因果関係を重視

論理的 (l)	判断の基準	感情的 (f)
48.17		51.83

五感（肌感覚）を大事にする
共感性が高く、個人の価値感を尊重
社会性を考慮する

自分の道は自分で決める。指示を嫌う
戦略立案や勝負事に興味がある
チャレンジすることを厭わない

主導的 (a)	行動の基準	協調的 (o)
64.8		35.2

調和を重視
自分よりも仲間のことを考える
全体リスクを見極める

思考のスタイルとは：人がその人自身の世界をどう認識し、物事の決定をしていくのかという点について心理的な傾向を分類。カール・ユングによって提案された概念理論に基づき、モチベーション理論を組込むことで、オリジナルのモデルで診断。

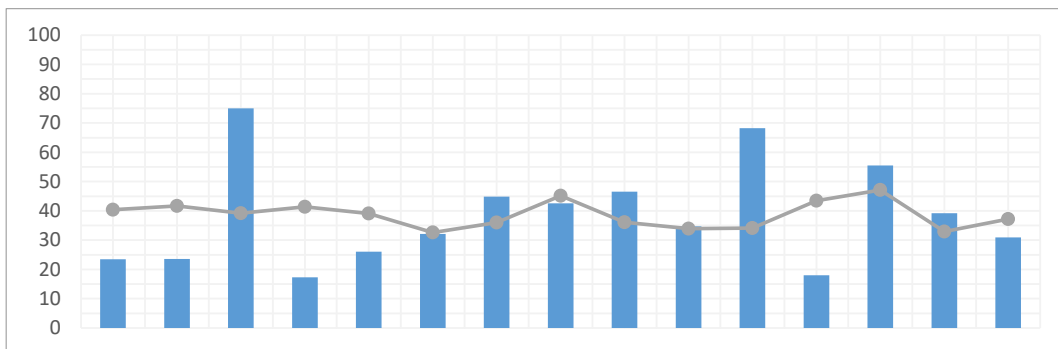
DI本部全体の傾向

内向性 (i)	71%	29%	外向性 (e)
現実的 (r)	52%	48%	直観的 (n)
論理的 (l)	43%	57%	感情的 (f)
主導的 (a)	29%	71%	協調的 (o)

社員番号		氏名	所 年雄	カナ	トコロ トシオ	所属		作成日	2020/9/25
------	--	----	------	----	---------	----	--	-----	-----------

Big5 基本的性格特性因子

Big5とは：人の性格は5つの要素の組み合わせからなることを説明した理論。多くの性格適性検査は本理論を元に設計されている。各因子は高いから良い、低いから悪いという訳でなく、各々に長短が存在する。



23	24	75	17	26	32	45	43	47	35	68	18	56	39	31
チーム志向	気さくさ	フットワーク	協調優先	多様性対応	説得・交渉	役割意識	誠実	完遂意欲	安定性	回復力	配慮	情報欲求	緻密性	論理性
40.67			25.15			44.68			40.33			41.87		
外向性			協調性			良識性			情緒安定性			知的好奇心		

（長所）状況を敏感に捉えて、素早く行動や決断を起こすことができる（短所）しっかり吟味したり、深く考えずに行動して失敗することがある

（長所）失敗や他者との衝突などで精神的な落ち込みがあった時にも、長く引きずることなく気持ちを切り替えることができる（短所）感情の起伏の波が早く短く大きいので、瞬間的、爆発的な喜怒哀楽が表層化されることがある

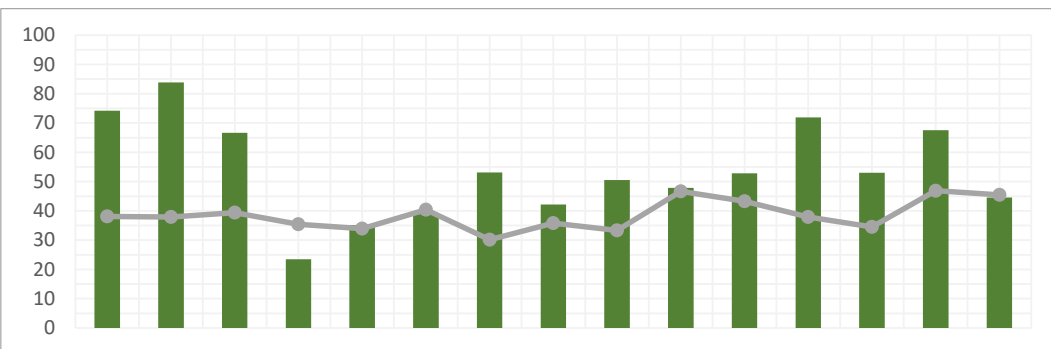
（長所）一度自らが手掛けたことは粘り強く進め、中途半端にしないで最後までやり抜く（短所）思いやこだわりが強く、臨機応変な判断が出来ない時や引き際を見誤ることがある

（長所）裏表なく単刀直入に率直な発言をすることが出来る（短所）相手の状況や感情、気持ちを慮ることなく冷たく官僚的な接し方をしてしまうことがある

（長所）周囲の雰囲気にならず、自分の意見を持った言動が出来る（短所）仲間やチームへの協調性が欠け、浮いた存在になりがち

Business Big5 ビジネス的性格特性因子

Business Big5とは：Big5理論に基づき、ビジネス場面に絞った上で、活かされる性格因子を示したものの。マルコポーロが独自に分類。Big5同様にスコアの高低に良し悪しはなく、各々に長短が存在する。



74	84	67	23	35	39	53	42	51	48	53	72	53	68	45
独自性	事業創造力	挑戦心	交流欲求	移動容易性	順応性	批判耐性	負荷耐性	要求耐性	自己理解	向上心	ポジティブ	一流志向	経済成功欲	評価志向
74.89			32.48			48.61			57.53			55.01		
変革創造			異文化適応			ストレス耐性			自己実現			社会的成功		

（長所）新しい事業や手法を創造的に構築しようとする（短所）失ってはいけない現状の良さを消してしまい、破壊的な活動に繋げてしまう懸念がある

（長所）過去に囚われることなく新しい未来を生み出そうとする（短所）伝統や過去経緯、古くから守られてきた慣習を軽視し、従来のやり方というだけで単に否定しがち

（長所）価値観が共鳴する人とは、深くまで関係性を構築しようとする（短所）自分の考えを周囲に理解させる活動が不足し、自らが孤立することを受け入れがち

社員番号		氏名	所 年雄	カナ	トコロ トシオ	所属		作成日	2020/9/25
------	--	----	------	----	---------	----	--	-----	-----------

仕事のモチベーションの根源

本部内偏差値として表現

組織行動適性

本部内偏差値として表現

仕事のモチベーションの根源とは：マクレランドの欲求理論を元に、自身が成し遂げたい欲求を測定。組織分野が求める動機と適合している人材ほど、無理なく自然な形で就業することが出来る。

動機要素	解説	偏差値
達成動機	達成に向けて困難な時にも諦めずに努力する。自分の責任への思い入れが強い。リスクを好みチャレンジングな姿勢を持つ	58.78
権力動機	他人に影響を与え、責任ある立場でいたい。役職を重視する。より大きな責任を与えられることを好む	56.65
親和動機	競争状況よりも相互理解を大切にしたい気持ちよく働きたい思いが強い。他者からの受容を望み、仲間との関係性をより重視する	21.51
安全動機	失敗、挫折、困難な状況を回避しようとする。慎重でリスクを起こさない反面、仕事の精度は非常に高い。完成率、成功率を誇る	54.73

組織行動適性とは：社会、会社、チームといった組織で必要とされる行動特性の適合度合いを測定した。組織の中で発揮される行動傾向を表している。

行動要素	解説	偏差値
協力行動	周囲に気を配り、協力し合うことが出来る。チームや仲間へ配慮できる。反面、個人の責任が曖昧になる側面もある	28.40
牽引行動	リーダーシップを発揮し、周知を牽引できる。反面、チームの一員として指示を受けて周囲をサポートすることが苦手	59.85
完投行動	困難を乗り越え最後までやり抜く力。反面、独りよがりになり、仲間に適切に支援を求めることが苦手	62.42
現実行動	現実性を追求し、落としどころを見極めることができる。理想は理想と割り切り、現実性を失わない。反面、妥協することがある	41.40
計画行動	計画を立てて進められる。反面、突発的な出来事や変更を嫌う側面もある	58.37

ビジネスセンス

本部内偏差値として表現

注意すべき要素

本部内偏差値として表現

ビジネスセンスとは：仕事上での感度の高さを測定。測定した要素のうち上位項目のみを表示。外部からの刺激を受ける姿勢であり、比較的变化しやすい要素。役割、立場によっても変化する。

1	社会の動きを見抜くセンス	65.95
	社会の動き（場合によっては会社内の動き）や流行、トレンドにアンテナをはって、有効な情報をキャッチしようとする。反面、多勢に流されがち。	
2	なりゆきを感じとって先を見抜くセンス	60.22
	現在の状況を的確に把握した上で、一歩先の行動をとっていくセンス。常にベストな状態でいようとする反面、時々の状況に振り回されがち。	
3	危険やチャンスを察知するセンス	51.99
	物事に潜むリスクやチャンスをいち早く敏感に感じ取れるセンス。先行して検討することが得意なので、準備が早い。	
4	異文化を理解し交わるセンス	51.26
	多種多様な価値観や文化を受け入れて、相手に合ったコミュニケーションを取れるセンス。反面、馴れ馴れしい感じを相手に与える懸念がある。	

注意すべき要素とは：仕事する上で発露しやすい注意すべき傾向のうち、上位項目を表示。注意すべき要素も、良い性格因子の裏側の因子であるため、一概にすべてを修正することは相応しくない。

1	ホスピタリティーのなさ	69.74
	相手の求めること、望んでいることを考慮せず、他者に対する気遣いや配慮が乏しくなる可能性がある。	
2	思いこみの強さ・頑固	69.64
	自らの信念や決断を貫こうとするあまり、反対する周囲の声や状況を受け入れなくなってしまう可能性がある。	
3	人に関わろうとしない傾向	67.94
	人との関わり合いを煩わしく感じ、優先順位を落としてしまうなど、関わり合いや理解させるふるまいが不足する可能性がある。	
4	孤立性	67.26
	単独での行動を好み、周囲に受け入れてもらえない原因を自らが生み出してしまう可能性がある。	